

複数施設研究用

## 研究課題「運動器損傷治癒過程の解明、非侵襲的検査を用いた後方視的研究」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

- ・2013年4月1日～2032年3月31日までの間に名古屋大学付属病院または5.研究組織に記載の機関にて以下の疾患の治療をうけられた方にて以下の疾患の治療をうけられた方
- ・疾患名：肩腱板断裂、反復性肩関節脱臼、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、肩こり、上腕骨外側上顆炎、上腕骨内側上顆炎、腰痛症、腰椎分離症、手関節部腱鞘炎、ド・ケルパン病、手指伸筋・屈筋腱鞘炎、絞扼性神経障害、末梢神経麻痺、変形性指関節症、変形性手関節症、変形性肘関節症、上腕骨骨折、橈骨骨折、尺骨骨折、手根骨骨折、中手骨骨折、指節骨骨折(ただし骨折には脱臼骨折も含む)、鷺足炎、腸脛靭帯炎、アキレス腱断裂、足底筋膜炎

### 2. 研究目的・方法・研究期間

#### 研究の目的：

肩こり、腰痛、頸部筋肉痛、テニス肘（上腕骨外側上顆炎）、肩関節周囲炎、腰痛などの運動器に由来する疾患の疼痛は、多様な局所症状を引き起こし、プレゼンティズムとよばれる、労働生産性の低下に大きく寄与している可能性が指摘されています。

これらの疾患は罹患率が高いにもかかわらず、原因や病態については不明な点が多いのが特徴で、特に慢性疾患に対する治療方法は対処療法としてのマッサージ療法、ストレッチによる筋膜リリースを中心に行われてきました。しかし治癒過程においてどのように症状緩和、治癒に至るかはよくわかつていません。近年の画像評価技術や疾患特異的な患者立脚評価が複数開発されており、こうした手法を利用することで治療の経過を客観的に評価でき、病態の解明につながる可能性があります。

本研究では、近年確立された画像評価技術や疾患特異的な患者立脚評価を利用することで、これまで治療者、患者ともに主観的に評価をしていたこれらの疾患に「客観性」の要素を取り込むことを目標とします。研究により画像を用いた治癒過程の客観的観察、患者立脚評価の推移などをみていくことで、自覚的症状の強さと客観的所見の相関や乖離を明らかにしていきます。治療によってどの部分が治癒してくるのか判明し、治療として意味がある治療とそうでない治療を明らかにしていくことで、治療のエビデンスの確立に貢献することが期待されます。

#### 方法：

すでに診療の際に採取した情報、検査画像を過去にさかのぼって調査します。調査によってえられたデータは統計学的手法を用いた解析を行い、病態の解明や治療のエビデンスを構築していくのに役立てます。

研究期間：実施承認日～2035年3月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報として、身体プロフィール(身長・体重等)、主観的症状、関節可動域、筋力、患者立脚評価アンケートの結果、レントゲン写真やエコー、CTなどの検査画像等を研究に用います。

### 4. 外部への試料・情報の提供

データはカルテの診療情報と画像を含みます。これらはサーバーから採取後即座に匿名化を行うために、患者さんの同定が不可能になります。研究に用いたデータは、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行い、以下の共同研究組織の中でのみ扱います。

### 5. 研究組織

#### ・研究分担者

名古屋大学医学部附属病院手の外科 山本美知郎、平田仁、米田英正、大山慎太郎、徳武克浩、佐伯将臣、佐伯総太、岩瀬紘章、佐伯岳紀、杉浦洋貴、比嘉円

#### ・既存試料・情報の提供のみを行う機関として以下の組織が該当します

中東遠医療センター 院長補佐 石井久雄

豊橋市民病院 整形外科 桑原悠太郎

東海病院 整形外科 村山敦彦

名古屋記念病院 整形外科 西川恵一郎

中日病院 副院長 西塙隆伸

愛知医科大学病院 整形外科 藤原祐樹

名古屋掖済会病院 整形外科 太田英之

日本赤十字愛知医療センター 名古屋第一病院 整形外科 洪淑貴

大同病院 整形外科 能登公俊

知多半島総合医療センター 宮坂和良

岡崎市民病院 整形外科医師 大西哲朗

新城市民病院 総合内科医師 榛葉誠

特定医療法人米田病院 院長 米田實

岐阜県立多治見病院 整形外科 新井哲也

市立四日市病院 整形外科 中野智則

静岡済生会病院 整形外科 田中宏昌  
一宮市立市民病院 整形外科 花林雅裕  
長野赤十字病院 整形外科 石原典子  
トヨタ記念病院 整形外科 栗本秀  
安城更生病院 整形外科 建部将広  
豊田厚生病院 整形外科 岩月克之  
刈谷豊田総合病院 整形外科 夏目唯弘  
日本赤十字愛知医療センター 名古屋第二病院 整形外科 澤田英良  
中京病院 整形外科 浅野研一  
鈴鹿回生病院 森田哲正

#### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部付属病院手の外科 講師 米田 英正  
住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65  
直通電話番号 052-744-2957

研究責任者：

名古屋大学予防早期医療創成センター  
名古屋大学医学部附属病院 手の外科 教授 山本 美知郎

研究代表者：

名古屋大学予防早期医療創成センター  
名古屋大学医学部附属病院 手の外科 教授 山本 美知郎